

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会から「表彰台レガシープロジェクト」の取り組みを通じて、東京 2020 大会で使用された表彰台を譲り受けました。当日は、表彰台を展示します。記念撮影も可能です。

譲り受けた表彰台は、下記の競技でメダル授与に使用されたものです。

- 【オリンピック】 金メダル：卓球（東京体育館）
水球（東京辰巳国際水球場）
銀メダル：ラグビー（東京スタジアム）
馬場馬術（馬事公苑）
総合馬術（馬事公苑）
障害馬術（馬事公苑）
銅メダル：自転車競技・マウンテンバイク（伊豆ベロドローム）
自転車競技・トラック（伊豆ベロドローム）

- 【パラリンピック】 金メダル：卓球（東京体育館）
アーチェリー（夢の島公園アーチェリー場）
銀メダル：馬術（馬事公苑）
銅メダル：自転車競技・トラック（伊豆ベロドローム）

【展示内容】

東京 2020 大会の表彰台、メダルトレイ、表彰台証明書、表彰台映像QRコード

表彰台とは -Podium-

表彰台は、多くの時間をかけ、努力を積み重ねてきたトップアスリートへ賛辞を贈るための最高の舞台です。

東京2020 大会の表彰台は、オリンピック・パラリンピック大会史上初の再生プラスチックを使用して製作されました。

また、側面のデザインは、大会エンブレムを手掛けた野老朝雄氏が担当し、最先端の 3D プリント技術を活用して製作したパネルを使用しています。

「表彰台レガシープロジェクト」とは

東京2020 大会では、オリンピック競技で339 種目、パラリンピック競技で539 種目、合わせて878 回の表彰式が実施され、オリンピックで114 名、パラリンピックで73 名の日本人メダリスト及び6名の競技アシスタントが表彰台に登壇しました。

「表彰台レガシープロジェクト」は、メダリストが登壇した表彰台を会場所在自治体等に届けることにより、大会開催への支援に対する謝意及び将来へ向けた大会レガシー促進のため、ユニット単位で表彰台を譲渡するプロジェクトです。本プロジェクトを通し、スポーツを通じた地域活性化の促進や地域住民の方々に対して東京 2020 大会を振り返る機会を提供し、また、表彰台の製作過程やそれに関わった人々の思いを通じて、表彰台のデザイン、最先端技術、そして

SDGs への理解を深めるための多様な機会を提供します。